

※業務用インクカートリッジやトナーは対象外です。回収箱には入れないでください。



この回収箱に入れてください

- 対象メーカー
- エプソン
- ブラザー
- ヒューレット・パッカー
- 須屋支所
- 泉ヶ丘支所
- 1階ロビー
- 御代志市民センター
- 市役所 1階ロビー
- ▼回収箱設置箇所

年末から年始にかけて年賀状の作成などでよくインクを使用するため使用済みのインクカートリッジが増えます。市では、使用済みインクカートリッジを再利用するため、市内4カ所に回収箱を設置しています。

使用済みインクカートリッジの回収箱を設置しています



浄化槽管理(設置)者には、浄化槽法で次の三つが義務付けられています。

- ① 保守点検
- ② 清掃
- ③ 法定検査

保守点検は機器の点検・調整・修理や消毒剤の補給を、清掃は浄化槽内にたまった汚泥などの引き抜きや機器類の洗浄を行なうものです。また、浄化槽の法定検査は、トイレの排水や生活雑排水をきれいにする浄化槽の維持管理が適切に行なわれ、浄化槽がきちんと機能しているかを確認するためのものです。

法定検査は県が指定した検査機関(公益社団法人熊本県浄化槽協会)が行ないますので、保守点検や清掃を行なっても、次の表に従って必ず検査を受けてください。

浄化槽の法定検査を受けましょう

保守点検内容

	回数	対象
7条検査 (浄化槽設置後の水質検査)	浄化槽を設置後3~8カ月以内に1回	新たに浄化槽を設置した人
11条検査 (定期検査)	毎年1回	浄化槽を設置している人

浄化槽の使用休止の届出について

浄化槽法が改正され、長期間使用しない浄化槽は、決められた内容の清掃を行ない、市に使用の休止の届出をすることにより、浄化槽の清掃、保守点検と熊本県浄化槽協会の定期検査(11条検査)が免除されます。

ただし、再開するときは必ず市と、清掃・保守点検業者にご連絡ください。

浄化槽の再開に向けた適切な処

ごみの焼却は法律や条例で禁止されています

置を行なわないと、し尿やその他の生活雑排水が処理されないまま放流されてしまい、近隣に大きな迷惑をかけてしまうことになります。

ごみの焼却は、煙で人に迷惑をかけるだけでなく環境にも害を与えます。農業などを営むためにやむを得ない場合(農業用の畑の管理上生じる雑草などの焼却)などの例外を除き、法律や条例で禁止されています。

例外的場合でも、干してある洗濯物に煙のにおいがついてしまう場合や、呼吸器管が弱い人が煙を吸い込んでしまう場合など周囲に迷惑をかける焼却行為は禁止されています。

ごみは燃やすのではなく、正しく分別して市の収集に出し、適切に処分しましょう。

※ごみの焼却は廃棄物の処理及び清掃に関する法律により罰せられ、行為者は5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金またはその両方に処せられます。

おいしいサツマイモを食べてほしい九州沖縄農業研究センターが贈呈

12月4日、九州沖縄農業研究センターが市内の中学生にサツマイモの紅はるか3,700本を贈呈しました。

これは毎年、一般公開でイモ掘りの体験を行っていた同センターが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているために企画したもので、子どもたちに、地元産のおいしいサツマイモを食べてもらいたいという思いが込められています。



西志志南中学校での贈呈の様子

お茶の魅力を感じてほしい市内の小中学生にリーフ茶を贈呈

12月14日、JA菊池茶部会が市内の小中学生に、リーフ茶(葉っぱのお茶)8,400袋を贈呈しました。この茶葉はお茶の消費拡大につなげるために、同茶部会(30人)の生産者が農林水産省の茶販売促進緊急対策事業を活用して生産したものです。同茶部会は「子どもたちにお茶の魅力を知ってもらい、お茶を飲む機会になれば幸いです」と話し、また、市内唯一の生産者の工藤製茶場からも粉末茶の寄贈がありました。



リーフ茶贈呈の様子

城北地区学童野球大会合志市フューチャーズ見事優勝

11月15日~21日にかけて、荒尾市運動公園で行なわれた第35回熊日玉名総局杯城北地区学童軟式野球大会で合志市フューチャーズが見事優勝しました。

16チームのトーナメント戦で開催され、決勝戦では荒尾スラッガーズ(荒尾市)に6対0で勝利。

キャプテンの山口煌葉さん(合志南小6年)は、「大きな声を出して流れをつかみ、優勝できて最高です」と笑顔で語っていました。



決勝を完封で優勝した合志市フューチャーズの皆さん

新型コロナの負担を軽減するためひとり親家庭に物資配付

12月6日と7日、総合センターヴィーブルふれあい緑地駐車場で、市ひとり親家庭福祉協議会などが、ひとり親家庭に食料品や衣類などの物資配付を行ないました。

これは新型コロナウイルスの影響によるひとり親家庭の負担を軽減するために開催したものです。参加者からは「このような機会はめったにないので、本当にありがたいです」と喜びの声があがりました。



当日は、近隣市町から合わせて70人以上が参加しました